

イスラエルに侵攻する北の国々 (続)

2025年11月9日

エゼキエル書 38章1節～39章16節

序：大患難期の前に起こること

(1) (時系列)

- ☆①世界戦争
- ☆②イスラエルが国家として再建 (離散している地から帰還)
- ☆③ユダヤ人のエルサレム奪還・統治
- ★④北からの数ヶ国の連合軍がエルサレムに侵攻
- ⑤世界統一政府の出現
- ⑥十の王国 (世界統一政府が分裂)
- ⑦反キリストの台頭
- ⑧一時的な平和と安全 (⑥と⑦が進行中)
- ⑨反キリストとイスラエルの7年の契約 (大患難時代のはじまり)

(2) (どの段階で起こるか不明)

- ①暗黒 (第一回目、全部で5回)
- ②エリヤの到来 (メシア再臨の備え)
- ③第三神殿
- ④教会の携挙
- ⑤キリストの御座のさばき (携挙された信者への報奨)
- ⑥キリストと教会との婚姻

⑤⑥は④の結果

北の国々がイスラエルに侵攻 (大患難期が始まる前に起こる4つ目のこと)
現時点では成就していない

I. 侵攻して来る北の諸国連合とはどの国々か エゼキエル 38・1～6

(1) ロシア (南部、北部)

メシエクとトバルの大首長であるマゴグの地のゴグ (新改訳2017)

南部 首長、王
ロシ、メセクおよびトバルの君たるマゴグの地の王 (文語訳)

北部
北の諸国連合の首謀国はロシア、そのロシアの支配者がゴグ

(2) 北の連合軍に参加するロシア以外の国々 地図参照

- ①ペルシャ：現在のイラン
- ②ケシュ：エチオピア
- ③プテ：ソマリア (エチオピアの隣国)
- ④ゴメル (ゲルマイニア)：ドイツ
- ⑤ベテ・トガルマ：アルメニア

II. どこに侵攻するのか エゼキエル 38・7～9

イスラエルの山々

イスラエルはメシアを信じない状態で帰還、再建国を果たし、居住

1948年以降のイスラエルの状態 8節

III. 侵攻の目的 エゼキエル 38・10～13

(1) 略奪 (家畜、金銀)

- ①死海の豊富な鉱物
- ②中東の活動拠点

(2) 侵略に反対する国々

- ①シエバとデガン：北アラビアの国々
- ②タルシシュとその若い獅子たち：スペインとスペインから誕生した中南米の国々 (ブラジルは除外：ポルトガルから誕生したから)

IV. 侵攻・略奪の経過 エゼキエル 38・14～16

- ①大軍勢で来る (優勢)
- ②途中までは、順調・成功に見える
- ③神がイスラエルを懲らしめるため、侵攻諸国を器として用いるが、最終的には、神が北の連合諸国をさばかれる 結果：彼らの敗北・滅び
ご自身が聖であることを顕示する (イスラエルにも連合軍にも)

V. 侵攻の結果 エゼキエル 38・17～23

- ①侵略をした連合軍に神のさばきが下る
- ②イスラエルの地に大きな地震が起こる
- ③同士討ちをする
- ④さらに、疫病、流血、豪雨、雹、火、硫黄による災いを与える
- ⑤神が聖であることが明らかになる

VI. 38章に記述されていたことをさらに詳しく説明 (再記述) 39・1～8

例：創世記1章～2章3節 と 創世記 2章4～25節 (創造が2回あった人間の創造にスポットを当て、詳しく記述 のではない)

- ①侵略軍はイスラエルの山々で滅亡させられる
イスラエルの南～ベエラフエバの北(ドタン、シエム、サマリヤ、シロ、ベテル、アイ、ラマ、ベツレム、ヘbron、
デビル、エルサレムの町々が含まれる)
1967年 6日戦争以後、イスラエルはエルサレムの西側だけでなく、これらの地域を支配している

- ②ロシアの地 (マゴグ) は荒れ果て、世界の強国の一つではなくなる

- ③神が北の連合軍をさばかれたのを見て、諸国民もイスラエルも神の栄光を認めるようになる

VII. 侵略軍が滅ぼされた後、どうなるか エゼキエル 39・9～16

- ①イスラエルの住民は敵の武器 (盾、大盾、弓矢、手槍、槍) を燃やして火をおこす 薪や木のかわりに燃料とする 燃やすのに7年かかる

- ②イスラエルのうちに敵軍のおびただしい死者たちを埋葬する墓場を設ける 地中海の東、ヨルダン渓谷 ⇒ ハモン・ゴグの谷と改名

- ③すべての死体を見つけ出して埋葬し終わるのに7ヶ月かかる
その任務に当るため、国中を巡回する人たちが任命される
捜す者は埋める者のために目印を立てておく

- ④墓地を見渡す町が建てられる 町の名はハモナ (群衆という意味)
こうして地がきよめられる

VIII. 北の諸国連合軍がイスラエルに侵攻する時期はいつか

7年 (武器を燃やす)、7ヶ月 (死体を埋葬する) が決め手

- ×①患難期の中間 残り3年半しかない
- ×②患難期の終わり (ハルマゲドンと同一視) 6ヶ国連合 ⇨ 全世界規模の軍
- ×③患難期から千年王国に移行する時 75日しかないので7年、7ヶ月は千年王国でとり無理
- ×④千年王国後 7年、7ヶ月の問題解決できない 天からの火でただちに滅ぼされる 黙示20・7～9
- ⑤患難期の前

北からの連合軍が侵攻して来るとき、イスラエルは国になっている
城壁のない町に住居
安心して住んでいる

IX. まとめ

患難期前に起こることのうち、時系列の3番目までは成就した
4番目の北からの連合軍の侵攻はまだ成就していない
しかしながら、侵攻して来るとき、イスラエルはすでに国となっており、人々は
荒廃した地に戻ってきて、城壁のない村々に住むようになっていく
文字通りのまったく平和ではないにしても、イスラエルは安心して住んでいる
これは現在のイスラエルの状態に該当する
侵攻してくる国々もすべてすでに存在している
ロシアを首謀国とする北の諸国連合軍は、いつ侵攻しても不思議ではない

慌てず、焦らず 現状を知った上で、全知全能の神への信頼と望みを
確かなものとしていきたい。(予言ではなく、預言だから)